

使用済みマヨネーズボトル回収の実証実験を実施します!!

～「味の素」「キューピー」「アミタ」が新たに「かわさきプラスチック循環プロジェクト」に参画～

川崎市では、プラスチック資源循環に向けて、「かわさきプラスチック循環プロジェクト（愛称：かわプラ）」を設立して様々な事業者と連携して取組を推進しています。

この度、「味の素株式会社」「キューピー株式会社」「アミタ株式会社」が新たにかわプラに参画し、今回、使用済みマヨネーズボトル回収の仕組み作りや水平リサイクルを目指し、3者と連携した新たな取組として、「脱炭素アクションみぞのくち」である川崎市高津区のイトーヨーカドー溝ノ口店において、使用済みマヨネーズボトル回収の実証実験を実施します。

1 実証実験の概要

- (1) 期 間：令和6年7月1日（月）から令和7年6月30日（月）
- (2) 場 所：イトーヨーカドー溝ノ口店（川崎市高津区久本3-6-20）
- (3) 対 象 物：家庭からの使用済みマヨネーズボトル
- (4) 回収方法：①フタとシールをはがす
②水を1/3入れて振って洗う
③ハサミで半分に切り、スポンジで洗う
④乾燥させ、マヨネーズボトルのみを回収ボックスに入れる



回収ボックスイメージ

(5) 実証実験の内容

洗淨の程度や回収可能量、回収されたボトルの破碎洗淨条件の確認及び再生材を活用したマヨネーズボトルの品質評価を行います。

(6) 実証実験の意義

マヨネーズボトルは、多くの自治体ではプラスチック製容器包装として様々なプラスチック製容器包装と一緒に回収していますが、単一素材で集めることができないことや、油分などの汚れの付着などの課題もあり、飲料ペットボトルに代表されるような水平リサイクル※1の仕組みが実装されていません。

今回、更なるプラスチック資源循環を目指し、企業の枠を超えてマヨネーズボトルを原料として分別回収し、再生材活用したマヨネーズボトルにリサイクルする実証実験を行うものです。

※1 水平リサイクルとは、限りある資源を有効に使用するため、使用済み製品を原料として循環させ、再び同じ種類の製品を製造することです。

(7) 各企業の役割

- ・味の素株式会社（本社：東京都中央区京橋 1-15-1）
- ・キューピー株式会社（本社：東京都渋谷区渋谷 1-4-13）
【全体調整、事業計画の作成、回収ボックス準備、プレス発表会など広報関係】
- ・アマタ株式会社（東京本社：東京都千代田区神田駿河台 4-3 12 階）
【安全性評価や事業性の確認など全体コンサルティング】
- ・イトーヨーカドー溝ノ口店
【回収場所の提供】
- ・川崎市
【かわさきプラスチック循環プロジェクトの取組として全体調整、広報支援】

2 かわさきプラスチック循環プロジェクト

<https://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000139506.html>



川崎市 HP

3 脱炭素アクションみぞのくちは

川崎市は、2050 年の脱炭素社会実現に向けて、高津区溝口周辺地域で脱炭素化に資する身近・先進的な取組を集中的に実施し、取組の効果や利便性を実感してもらうことで、市民一人ひとりの環境配慮型のライフスタイルへの行動変容を促進し、脱炭素社会の実現を目指す取組として創設しました。



市民・事業者と一体で進めている本取組等が国に評価され、2030 年度までに、主に民生系の電力消費に伴う CO₂ 排出実質ゼロの実現や関連分野の CO₂ の削減を目指す地域である「脱炭素先行地域」にも選定されています。

【脱炭素アクションみぞのくち】

<https://carbon0-mizonokuchi.jp/about/>

【脱炭素先行地域の取組】

<https://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000139745.html>

【問合せ先】

（かわプラに関すること）

川崎市環境局生活環境部廃棄物政策担当: 山田

電 話 044-200-2557（直通）

（脱炭素アクションみぞのくちに関すること）

川崎市環境局脱炭素戦略推進室: 内田

電 話 044-200-2865（直通）

【問合せ先】

（実証事業に関すること）

味の素株式会社 グローバルコミュニケーション部

電 話 03-5250-8180

キューピー株式会社

電 話 03-3486-3051